



9月 ちとせだより

2021. 9. 1

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

みなさんにとって、今年の夏休みは長く感じたのでしょうか？それとも短く感じたのでしょうか？コロナウィルス感染拡大の収束を毎日のように願いつつも、未だ収まることなく、8月20日より兵庫県に緊急事態宣言が再び発出されました。夏の終わりの夏期保育も楽しみにしていたお友だちもたくさんいたことと思います。幼稚園でも先生たちが、たくさんのお楽しみを用意していましたが、それが叶わず本当に残念でした。また、どこかで子どもたちと共有する場を設けたいと思っています。

さて、今年は1年越しのオリンピックが東京で開催されました。すべての競技が無観客で実施され、またコロナウィルスの感染状況も悪化する中、ご家庭で見る機会も多かったのではないのでしょうか？時差がないので、ほぼ日中は何かかしらの競技を見ることができました。夏休みプレイクラブでもコーナー保育で絵画を楽しむ子どもたちが描いたものには、「ボルダリング」や「卓球」「水泳」「体操」「陸上」などのオリンピック競技の場面が多くありました。きっと子どもたちの中にも何か感じるものがあったのでしょうか。

そんなオリンピックは、国を代表した選手が金メダルを目指し、競い合うスポーツの祭典ですが、私にとって今回最も印象に残ったのは、陸上の男子走り高跳びでした。カタールのバルシム選手とイタリアのタンベリ選手は、決勝で同じ記録のまま、次の高さは同じく失敗し、本来は決着がつくまで競技を続ける「ジャンプオフ」によって勝敗を決めるのがルールですが、2人が取った決断は、競技を続けず1位を2人で分け合うというものでした。競技者である以上、やはり単独1位を目指したいという思いはあるにも関わらず、国を超えた両者がそのタイミングで結果を分け合うことを選んだことに、オリンピックの本来の目的である「世界平和」の意味を少し感じる事ができました。また、素晴らしい結果を1人が、1つのチームが、1つの国だけが得るのではなく、素晴らしいものはできるだけたくさんの人と分かち合うことの大切さを教えられたような気がします。

人と競い、人より良い結果を求め、切磋琢磨する競争社会の中であっては、勝ち取れる報酬や喜びは限られた者しか味わうことはできず、結果格差社会につながっていきます。普段の生活から、それぞれが感じた小さな喜びや楽しみを自分だけにとどまらず、たくさんのお友だちと共有し、みんなでその喜びや楽しさを分かち合えるような時間を大切に、「世界平和」の実現に向けて、2学期の保育も進めていきたいと思っています。

【年主題】

『共に喜んで』～すべての歩みの中～

【年主題聖句】

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

(コリント信徒への手紙Ⅰ 12章26節)

9月主題 「いっしょに」

聖句 「わたしがあなたがたを愛したように、
あなたがたも互いに愛し合いなさい」

(ヨハネによる福音書13章34節)